

アルミ缶などの回収活動の収益で車いす NECトーキン白石事業所が市に車いす寄贈

6月11日、NECトーキン白石事業所の八巻徳郎執行役員が市役所を訪れ、同事業所の従業員約700人が集めたアルミ缶やプルタブの回収活動の収益金で購入した車いす2台を、風間市長に手渡しました。八巻執行役員は、「高齢者の方や身体が不自由になった方に使っていただくなど、福祉活動に役立ててください」とあいさつ。風間市長は、「大変ありがたい。活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。同事業所からの寄贈は8年目。市は車いすを福祉事務所(☎22-1400)に配備し、希望する市民に無償貸与しています。



▲車いすを手渡す八巻執行委員(左)

白石にモミジ街道を

白石市自治会連合会白石支部が街路樹植樹

6月22日、白石市自治会連合会白石支部(鈴木恒秋支部長)の皆さんが、中央公園前の歩道にイロハモミジ40本を植樹しました。この活動は、同所に植えられていたナナカマドのほとんどが枯れてしまったため、同支部が平成23年度からの3年間で約100本のイロハモミジを植樹し、景観を美しくしようというもの。参加者は、「秋に『モミジ街道』と言われるくらいきれいに育ち、地域の皆さんに気持ちよく通行してもらえたらうれしいです」と話してくれました。この日は同支部の約10人が参加。植樹や枯れた木の撤去、除草作業を行いました。



▲植樹を行う白石市自治会連合会白石支部の皆さん

世界も、自分も、変える仕事！

青年海外協力隊員八島ゆみさんがサンパウロに

6月21日、JICA青年海外協力隊員としてブラジルサンパウロ州サントス市に派遣される八島ゆみさんが、風間市長と武田教育長を訪ねました。7月2日から2年間「サントス厚生ホーム」に派遣される八島さん。同ホームでは、移民としてブラジルに渡った日系1世の功績を受け継ぎ、さらなる功績を生み苦労された2世・3世の方々の介護や、介護職員などへの介護技術の普及などに当たります。八島さんは、「2世・3世の方々が、余生を『その人らしく生きる』ためのお手伝いできればうれしいです」と今後の抱負を話していました。



▲笑顔で抱負を話し、サンパウロに出発した八島さん(左から2番目)

満天の夜空と南蔵王の新緑を楽しむ

南蔵王夏山登山と星を観る会

6月22日～23日の両日、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」に合わせ、「南蔵王夏山登山と星を観る会」が行われ、市内外から29人が参加しました。22日は、バーベキューを楽しみながらの星の鑑賞や、翌日の登山に備えて花に関するマメ知識のテストなどが行われました。23日は、刈田峠から白石スキー場までのコースを、ガイドの説明を受けながらゆっくりと山歩き。汗を流した後は、鎌先温泉での入浴や、小十郎の郷での買い物などを楽しみました。参加者は「蔵王の自然を満喫しました」と笑顔で話していました。



▲新緑の南蔵王を楽しむ参加者たち

緑のじゅーたんが待ち遠しい

大鷹沢保育園の園庭で芝生苗の植え付け



▲芝生苗を丁寧に植える園児や保護者たち

6月15日、大鷹沢保育園の園児とその保護者、大鷹沢地区老人クラブ連合会・大鷹沢第3自治会の会員など約110人が、同園の園庭で芝生苗の植え付けを行いました。この取り組みは、市が「子どもたちに素足で元気に駆け回ってほしい」と、平成22年度から保育園・児童館の園庭芝生化事業の一環で行っているもの。この日は、除草作業で覆土した約600㎡の園庭に芝生苗約2,500ポットを植えました。参加した保護者は、「除草作業で芝生がなくなって砂ぼこりが上がっていましたが、また園庭に緑が戻ればうれしいです」と話していました。

笹巻きっておいしいね

武家屋敷で「笹巻きの会」



▲笹巻きの食べ方を教わる参加者

6月22日、端午の節句に合わせ、笹巻きの試食や巻き方の体験ができる「笹巻きの会」が武家屋敷で行われました。笹巻きは白石に伝わる伝統食で、子どもたちの健やかな成長を願い行われてきたもの。この催しは、武家屋敷を管理する(公財)白石市文化体育振興財団とヘルスメイト白石の共催で実施。参加者は、もち米を笹で巻き、いぐさで結ぶ作業を体験したり、ゆであげ、冷やされた笹巻きにきなこを付けて食べたりしました。参加者は、「笹を巻くのは難しかったけど、楽しかった」「きなこが甘くておいしかった」と楽しそうに話していました。

幻想的な光に感動

第11回白石薬師堂ホタル祭り



▲熱のこもった演奏をする和太鼓クラブ蛍の皆さん

6月29日、30日の2日間、白石薬師堂ホタルの里を守る会(半澤勇三郎会長)と白石温泉薬師の湯共催の「第11回白石薬師堂ホタル祭り」が白石温泉薬師の湯で開催されました。29日に行われた開会式には市内外から200人を超える人たちが来訪。弥治郎ダンスのダンスの披露や、よさこい走乱白石城の演舞、和太鼓クラブ蛍の演奏などを楽しみました。その後「花灯路」に沿って通称「おがる石」まで歩き、ゲンジボタルを鑑賞。東京から来た来訪者は、「幻想的な光でとてもきれい！」と声を上げて喜んでいました。

ひげは実とつながっているんだね

市内保育園にシリウス産トウモロコシ



▲トウモロコシを受け取る園児たち(右)甘くておいしいと喜ぶ園児(左)

7月8日、生ゴミ資源化事業所「シリウス」のハウスで育てられたトウモロコシが大きく成長し、北保育園に届けられました。この日は、さくら組4・5歳児18人が楽しそうに皮をむき、トウモロコシのひげが1つ1つの実につながっていることなどを学びました。午後のおやつは茹でたてのトウモロコシ。園児たちは、「いいにおい」「甘くておいしい」と声を上げながら、採りたてのトウモロコシを食べていました。シリウスでのトウモロコシの栽培は本年度が初めて。同施設で育てられたトウモロコシはすべての保育園に届けられました。